

公益目的支出計画実施報告書

自 令和6年4月1日
至 令和7年3月31日

一般社団法人 岩手県栽培漁業協会

【別紙1:法人の基本情報】

法人コード	A010232
-------	---------

1. 基本情報

フリガナ	イッパンシャダンホウジン イワテケンサイバイギョギョウキョウカイ				
法人の名称	一般社団法人 岩手県栽培漁業協会				
主たる事務所の住所及び連絡先					
住所	郵便番号	都道府県名	市区町村丁番地等		補足住所
	022-0001	岩手県	大船渡市末崎町字鶴巻120番地		
代表電話番号	0192-29-2135	内線		FAX番号	0192-29-3099
代表メールアドレス	hiroshi-y@it-saibai.or.jp				
ホームページの有無					
ホームページアドレス	http://www.it-saibai.or.jp/				
代表者の氏名	山崎 義広				
事業年度	4月1日～3月31日				
事業の概要	岩手県内のあわび、うに、ひらめ、あゆ等有用な水産動植物の種苗生産及び放流並びに生産技術の研究開発、栽培漁業の振興に関する調査研究等を行い、岩手県内の栽培漁業の振興に寄与する。				

【別紙2：公益目的支出計画実施報告書】

2. 公益目的支出計画実施報告書

【令和6年度（6年4月1日から7年3月31日まで）の概要】

1. 公益目的財産額	181,101,003 円
2. 当該事業年度の公益目的収支差額（①＋②－③）	110,070,074 円
①前事業年度末日の公益目的収支差額	116,259,719 円
②当該事業年度の公益目的支出の額	80,262,783 円
③当該事業年度の実施事業収入の額	86,452,428 円
3. 当該事業年度末日の公益目的財産残額	71,030,929 円
4. 2の欄に記載した額が計画に記載した見込み額と異なる場合、その概要及び理由	
<p>当該事業年度の収支は、収入が計画を36,622千円上回り、支出が計画を22,971千円上回った。 この結果、公益目的収支差額は計画より30,956千円下回った。 これは、ヒラメの漁獲量が増加し漁獲金額に連動する増殖負担金収入が増えたことや、 種苗生産が順調に餌料費や消耗品の節減ができた結果である。</p>	

【公益目的支出計画の状況】

公益目的支出計画の 完了予定事業年度の末日	①. 計画上の完了見込み	令和13年3月31日
	②. ①より早まる見込みの場合	

	前事業年度		当該事業年度		翌事業年度
	計画	実績	計画	実績	計画
公益目的財産額	181,101,003 円	181,101,003 円	181,101,003 円	181,101,003 円	181,101,003 円
公益目的収支差額	133,564,917 円	116,259,719 円	141,026,317 円	110,070,074 円	148,685,717 円
公益目的支出の額	57,141,200 円	76,123,667 円	57,292,200 円	80,262,783 円	57,490,200 円
実施事業収入の額	49,830,800 円	80,360,036 円	49,830,800 円	86,452,428 円	49,830,800 円
公益目的財産残額	47,536,086 円	64,841,284 円	40,074,686 円	71,030,929 円	32,415,286 円

(2) 〔公益目的支出計画実施報告書〕

(事業単位ごとに作成してください。)

【実施事業(継続事業)の状況等】

事業番号	事業の内容
継 1	栽培漁業推進事業(魚類栽培事業)

(1) 計画記載事項

事業の概要

1. 事業の概要について

栽培漁業の推進に関する事業は、目的を達成するためにその手段として、相互に関連する下記(1)から(3)での事業で構成される事業を連動して実施・推進することにより、県下の栽培漁業魚種である「ヒラメ」の資源維持増大が図られることから、「栽培漁業推進事業」として単一事業にまとめることとした。

なお、栽培漁業とは、生物生産過程の一部で自然界では非常に生存率の悪い幼稚子の時期を、人工的に育成(保護)した種苗を大量に放流し、個体数を増大させ、後は自然環境の中で成育にまかせて成体で収穫する漁業である。

(1) 水産動植物の種苗生産及び放流に関する事業 定款第4条の(1)

(事業内容)

県内の主要魚種である「ヒラメ」の資源の維持増大を図るため、種苗を効率的かつ大量に生産し、適地に大量放流することにより、資源の維持・増大を図る事業である。

(2) 水産動植物の種苗の放流による効果調査に関する事業 定款第4条の(2)

(事業内容)

放流した種苗の成長、生残、回遊経路、漁獲状況、再生産への寄与等を調査し、最も効果的な放流技術の確立を図る事業である。

(3) 栽培漁業に関する技術の開発及び指導並びに知識の普及等啓発に関する事業 定款第4条の(3)

(事業内容)

栽培漁業を効率的かつ効果的に推進するために必要な種苗生産・放流技術の改善及び新たな開発並びに得られた技術の指導を行うとともに、漁業者及び県民に栽培漁業に関する情報を提供することにより、栽培漁業の振興を図る事業である。

2. 事業の対象者

栽培漁業を実施する正会員及び賛助会員を対象としている。

3. 財源及び事業実施に必要な資産

(1) 財源は、賦課金収入及び受取増殖負担金収入等を充当している。

(2) 事業実施に必要な資産は、増殖負担金積立資産である。

① 当該事業に係る公益目的支出の見込額	57,292,200 円
② 当該事業に係る実施事業収入の見込額	49,830,800 円

(2) 当該事業年度の実施状況

事業の実施状況について	
<p>(1) 水産動植物の種苗生産及び放流に関する事業 定款第4条の(1) (事業内容) 本年度のヒラメ種苗生産は順調に推移して計画通り50mm1,100千尾の生産供給を実施した。</p>	
<p>(2) 水産動植物の種苗の放流による効果調査に関する事業 定款第4条の(2) (事業内容) 本年度は、(公社)全国豊かな海づくり推進協会の資源造成事業を導入し、県内2カ所で胸鰭カット標識を含む種苗28千尾を放流した。</p>	
<p>(3) 栽培漁業に関する技術の開発及び指導並びに知識の普及等啓発に関する事業 定款第4条の(3) (事業内容) 親魚飼育の経費節減のため、海水を循環して親魚を飼育するシステムの実用化に取り組んだ。</p>	
① 当該事業に係る公益目的支出の額	80,262,783 円
② 当該事業に係る実施事業収入の額	86,452,428 円
③ (① - ②) の額	△ 6,189,645 円
④ 当該事業に係る損益計算書の費用の額	80,262,783 円
⑤ 当該事業に係る損益計算書の収益の額	86,452,428 円
①及び②に記載した額が計画に記載した額と異なる場合、その内容及び理由	
<p>当該事業年度の収支は、収入が計画を36,622千円上回り、支出が計画を22,971千円上回った。 これは、ヒラメの漁獲量が増加し漁獲金額に連動する増殖負担金収入が増えたことや、種苗生産が順調で餌料費や消耗品の節減ができた結果である。</p>	

(2) [公益目的支出計画実施報告書]

(3) 実施事業資産の状況等

番号	資産の名称	時価評価資産の 算定日の時価	移行後に取得した 場合の取得価額	前事業年度末日の 帳簿価額	当該事業年度末日 の帳簿価額	使用の状況
	増殖負担金積立資産	円	95,419,330 円	23,970,194 円	23,970,194 円	計画記載通り引続き当該事業で使用
a1	車輛運搬具	円	1,070,000 円	1,025,025 円	757,525 円	計画記載通り引続き当該事業で使用
a2	機械及び装置	円	10,755,101 円	1,353,004 円	6,980,804 円	計画記載通り引続き当該事業で使用
a3	什器備品	円	308,000 円	1 円	272,101 円	計画記載通り引続き当該事業で使用
a4		円	円	円	円	
		円	円	円	円	
		円	円	円	円	